

この教材見本は、実際の1カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の1カ月あたりの学習量は、1回30分×8回です。

この教材見本は1カ月分の一部を抜粋して掲載しています。下記の黒字が今回の掲載回です。

※テキストスタイルの見本になります。

※添削問題は、「一貫標準」「一貫発展」の問題を掲載しています。

関係代名詞の基本／否定疑問文

- ① 要点学習 要点1
 - ② 要点学習 要点2
 - ③ 応用学習 スピーキング1
 - ④ 応用学習 スピーキング2
 - ⑤ 応用学習 読解演習
 - ⑥ 応用学習 英作文演習
 - ⑦ 添削問題 添削問題1
 - ⑧ 添削問題 添削問題2
- 巻末 添削指導例

1

要点学習 関係代名詞の基本／否定疑問文

要点 1

30分

要点

関係代名詞とは

今回は「関係代名詞」について学習します。人や物・動物について説明を付け加えるときによく使われます。まずは例文を見てみましょう。



1

I have a friend **who lives in Canada.**

(わたしには**カナダに住んでいる**友達があります。)

I like the bag **which I bought yesterday.**

(わたしは**昨日買った**バッグを気に入っています。)

Look at the cat **that is running over there.** (向こうを**走っている**猫を見なさい。)

I have a friend **who lives in Canada.** (わたしにはカナダに住んでいる友達があります。)

この文は、もともと次の2つの文からできています。

1. I have a friend. (わたしには友達があります。)

2. He [She] lives in Canada. (彼〔彼女〕はカナダに住んでいます。)

2番目の文で、最初の文で登場した「友達」についての説明を付け加えています。これを1つの文で表すにはどうすればよいでしょうか。簡単なのは接続詞andを使うことです。

I have a friend, and he [she] lives in Canada.

今回学習する方法は、説明を加えたい人（この場合はa friend）のあとに**who**を置き、そのあとに説明の内容（この場合は (a friend) lives in Canada）を続ける、というものです。

I have a friend **who** lives in Canada.

友達 カナダに住んでいる

↑ 説明の付加

この説明の部分全体 (who lives in Canada) のことを「**関係詞節**」といいます。また、whoが関係詞節の中で主語としてa friendの代名詞の役割を果たしていることに注目してください。このwhoのような、接続詞と代名詞の特徴をあわせもつものを「**関係代名詞**」といいます。さらに、a friendのように、関係詞節によって説明を加えられている人や物・動物のことを、関係詞節の前にきていることから、「**先行詞**」といいます。

 注目

関係詞節全体をまとめて見ると、先行詞を後ろから修飾する形容詞と考えることができますね。

説明を加えたいものが物や動物の場合はどうすればよいでしょうか。

I like the bag **which I bought yesterday**.

(わたしは昨日買ったバッグを気に入っています。)

説明を加えたい物・動物のあとに、whoの代わりに**which**を置き、説明の内容を続けます。ここで、説明の内容を示す関係詞節の中で、説明を加えたいものが主語ではなく目的語になっていることにも注意しましょう。関係代名詞は先行詞と関係詞節をつなぐ接続詞の役割もあるため関係詞節の先頭にきますから、ふつうはboughtのあとにくるはずの目的語は、関係代名詞となって位置を変えているのです。主語のはたらきをする関係代名詞を「**主格の関係代名詞**」、目的語のはたらきをする関係代名詞を「**目的格の関係代名詞**」といいます。

 注目

whichは主格・目的格の両方に使えます。主格の例を挙げておきましょう。

I have a dog which has a long tail. (わたしは尻尾が長い犬を飼っています。)

Look at the cat **that is running over there**. (向こうを走っている猫を見なさい。)

このように、関係代名詞としてwhoやwhichの代わりに**that**を用いることもできます。

- ▶ 疑問詞のwhoやwhich、代名詞のthatと同じ形ですが、関係代名詞としての意味や用法はまったく異なります。

 ちょっとくわしく 「所有格の関係代名詞」

説明の中で、説明を加えたいものが所有格になる場合も、関係代名詞を使って表せます。例えば、「わたしはお父さんが有名な歌手である生徒を知っています。」という文では、「生徒」に「その生徒のお父さんが有名な歌手である」という説明が加わっています。この場合、関係代名詞は**whose**を使って、I know a student **whose** father is a famous singer. のように表せます。これを、「所有格の関係代名詞」といいます。

POINT

- 関係代名詞は接続詞と代名詞の両方のはたらきをする。
- 関係代名詞を先頭とする関係詞節を後ろに置くことで、人や物・動物に説明を付け加えられる。その場合の人や物・動物を表す語句は先行詞と呼ばれる。

例題

次の日本語の意味を表すように、カッコ内から最も適当なものを選び、全文を書きなさい。

- (1) その耳の長い動物は何ですか。

What is the animal (what ; when ; which) has long ears?

.....

- (2) ギターを上手に弾く男の子が必要です。

I need a boy (those ; who ; whose) can play the guitar well.

.....

主格の関係代名詞

先行詞が、それを説明する関係詞節の中で主語になるとき、主格の関係代名詞を使います。



2

She is a teacher **who** is very kind to us.

(彼女はわたしたちにとっても親切な先生です。)

He lives in a house **which** has a lot of rooms.

(彼は部屋がたくさんある家に住んでいます。)

I like books **that** have many pictures. (わたしは絵のたくさんある本が好きです。)

She is a teacher **who** is very kind to us. (彼女はわたしたちにとっても親切な先生です。)

この文では、a teacherにShe (=a teacher) is very kind to us. という説明が加えられています。a teacherが説明の中で主語に当たるので、a teacherのあとに主格の関係代名詞の**who**を置き、そのwhoを主語にしてwho is very kind to usという説明の内容を続けています。この場合、a teacherのことは先行詞、who is very kind to usのことは関係詞節といいましたね。

She is a teacher. + She is very kind to us.

She is a teacher **who** is very kind to us.

先行詞 関係詞節

↑ ↓

説明の付加

▶ whoは先行詞a teacherを指す代名詞の役割もしています。

さて、先行詞が人か物・動物かによって、使える主格の関係代名詞が異なってきます。これから関係代名詞ごとに見ていきましょう。

a. who

先行詞が人の場合、**who**を主格の関係代名詞として使えます。

She is a teacher **who** is very kind to us. (彼女はわたしたちにとっても親切な先生です。)

I have an uncle **who** lives in China. (わたしには中国に住んでいるおじさんがいます。)

▶ whoのあとに3人称単数を主語とする動詞の形のlivesが続いていますね。関係代名詞は先行詞を指す代名詞でもありますから、関係代名詞に続く動詞の形は、先行詞（この場合はan uncle）に従います。

Do you know a boy **who** can run fast? (あなたは速く走れる男の子を知っていますか。)

I like a person **who** always tries his or her best.

(わたしは、いつもベストを尽くす人が好きです。)

注目

関係代名詞のあとには、付け加える説明の内容に応じて、be動詞や一般動詞だけでなく、助動詞や進行形などいろいろな形を続けられます。

b. which

先行詞が物・動物の場合、**which**を主格の関係代名詞として使えます。

He lives in a house **which** has a lot of rooms.

(彼は部屋がたくさんある家に住んでいます。)

I read a book about a bull **which** loved flowers.

(わたしは花の好きな牛についての本を読みました。)

The butterfly **which** is flying about over there is a “swallowtail.”

(あそこで飛んでいるチョウは『アゲハチョウ』です。)

c. that

先行詞が人の場合でも物・動物の場合でも、**that**を主格の関係代名詞として使えます。whoやwhichを使った場合と、意味は同じです。

I like books **that** have many pictures. (わたしは絵のたくさんある本が好きです。)

Who is the woman **that** is talking with our teacher?

(わたしたちの先生と話している女性はだれですか。)

POINT

- 先行詞のあとに主格の関係代名詞を置き、その関係代名詞を主語とした関係詞節を続ければ、先行詞に関係詞節の内容の説明を付け加えることができる。
- 先行詞に応じて、主格の関係代名詞として **who**, **which**, **that** を使い分ける。
- 主格の関係代名詞に続く動詞の形は、先行詞に従う。

例題

次の日本語の意味を表すように、カッコ内から最も適当なものを選び、全文を書きなさい。

- (1) 手にアルバムを持っている女の子がわたしの妹です。

The girl (which ; who) has an album in her hand is my sister.

.....

- (2) あれが博物館へ行くバスです。

That is the bus (which ; who) goes to the museum.

.....

- (3) わたしは花を食べる鳥を知っています。

I know a bird (what ; that) eats flowers.

.....

目的格の関係代名詞

先行詞が、それを説明する関係詞節の中で目的語になるとき、目的格の関係代名詞を使います。



3

This is the chair **which** my father made yesterday.

(これはわたしの父が昨日作ったいすです。)

The music **which** we listened to last night was beautiful.

(わたしたちが昨晚聴いた音楽はすばらしかった。)

She is the girl **that** I like the best in this class.

(彼女がこのクラスでわたしがいちばん好きな女の子です。)

This is the chair **which** my father made yesterday.

(これはわたしの父が昨日作ったいすです。)

この文では、the chairにMy father made it (=the chair) yesterday. という説明が加えられています。the chairが説明の中で目的語に当たるので、the chairを先行詞として目的格の関係代名詞の**which**を置き、そのwhichを目的語にしてwhich my father made yesterdayという関係詞節を続けています。関係代名詞は先行詞と関係詞節をつなぐ接続詞の役割もあるため関係詞節の先頭にきますから、ふつうはmadeのあとにくるはずの目的語も、whichとして関係詞節の先頭にきていますね。

This is the chair. + My father made **it** yesterday.

This is the chair **which** my father made yesterday.

先行詞 関係詞節
 ↑ 説明の付加 ↓

動詞の目的語だけでなく、前置詞の目的語の場合にも、目的格の関係代名詞を使えます。

The music was beautiful. + We listened to **it** last night.

The music **which** we listened to last night was beautiful.

(わたしたちが昨晚聴いた音楽はすばらしかった。)

さて、目的格の関係代名詞をそれぞれ見ていきましょう。

a. which

先行詞が物・動物の場合、**which**を目的格の関係代名詞として使えます。

This is the chair **which** my father made yesterday.

(これはわたしの父が昨日作ったイスです。)

Look at the door **which** you broke. (あなたが壊したドアを見なさい。)

The cake **which** I made last night tasted bad.

(昨晚わたしが作ったケーキはおいしくありませんでした。)

b. that

先行詞が人の場合でも物・動物の場合でも、**that**を目的格の関係代名詞として使えます。
whichを使った場合と、意味は同じです。

She is the girl **that** I like the best in this class.

(彼女がこのクラスでわたしがいちばん好きな女の子です。)

Is the book **that** you read interesting? (あなたが読んだ本はおもしろいですか。)

ちょっとくわしく 「使用頻度が減っているwhom」

先行詞が人の場合、whomを目的格の関係代名詞として使えます。

She is the girl **whom** we saved in the lake.

(彼女が、わたしたちが湖で救った女の子です。)

The man **whom** I met yesterday was Jim's father.

(わたしが昨日会った男の人はジムのお父さんでした。)

ただし、関係代名詞whomが実際の会話や文中で使われることは少なくなっています。
代わりに、whomより略式ではありますが、whoやthatが使われることが多いです。また、改めてくわしく扱いますが、そもそも関係代名詞は目的格の場合省略が可能で、実際には省略されるケースが最も多いと言えます。

Jim, is that the girl **who** you like? (ジム、あの女の子がきみの好きな子かい。)

There was nobody I knew. (わたしの知っている人は1人もいませんでした。)

POINT

- 先行詞のあとに目的格の関係代名詞を置き、先頭に出たその関係代名詞を目的語とした関係詞節を続ければ、先行詞に関係詞節の内容の説明を付け加えることができる。
- 先行詞に応じて、目的格の関係代名詞として**which**、**that**などを使い分ける。

例題

次の日本語の意味を表すように、カッコ内から最も適当なものを選び、全文を書きなさい。

- (1) わたしたちが集めた空き缶はどこにありますか。

Where are the empty cans (what ; which) we collected?

.....

- (2) あなたが電話した女の子はわたしのいとこです。

The girl (which ; that) you called is my cousin.

.....

- (3) わたしが見かけた白い猫はメアリーのでした。

The white cat (that ; this) I saw was Mary's.

.....

M · E · M · O

解答

関係代名詞とは



4

- (1) What is the animal **which** has long ears?
- (2) I need a boy **who** can play the guitar well.

主格の関係代名詞



5

- (1) The girl **who** has an album in her hand is my sister.
- (2) That is the bus **which** goes to the museum.
- (3) I know a bird **that** eats flowers.

目的格の関係代名詞



6

- (1) Where are the empty cans **which** we collected?
- (2) The girl **that** you called is my cousin.
- (3) The white cat **that** I saw was Mary's.

M · E · M · O

練習問題

指示に従って、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の日本語の意味を表すように、空所に最も適切な語を1語ずつ入れ、全文を書きなさい。
丘の上に立っている建物は小学校です。

The building () () on the hill is an elementary school.

.....

- (2) 次の日本語の意味を表すように、空所に最も適切な語を1語ずつ入れ、全文を書きなさい。

わたしには大きな車を持っているおじがいます。

I have an uncle () () a big car.

.....

- (3) 次の文が正しい英文になるように、空所に最も適切な語を1語入れ、下線部全文を書きなさい。

A : Did you have a good time in Okinawa?

B : Yes. The sea and sky () I saw there were wonderful.

.....

- (4) 次の2つの文がほぼ同じ意味を表すように、空所に最も適切な語を1語ずつ入れ、全文を書きなさい。

Paul has a sister, and she studies history in Japan.

Paul has a () () () history in Japan.

.....

- (5) 次の2つの文がほぼ同じ意味を表すように、空所に最も適切な語を1語ずつ入れ、全文を書きなさい。

The woman is Ms. Brown. You saw her near the zoo.

The woman () () () near the zoo is Ms. Brown.

.....

M · E · M · O

解答



7

- (1) The building
- which (that) stands**
- on the hill is an elementary school.

空所を含むThe building … on the hillの部分が「丘の上に立っている建物」を表します。形容詞のはたらきをする現在分詞を使ってThe building standing on the hillと表すこともできますが、それでは空所の数が合いません。そこで関係代名詞を使うことを考えてみましょう。後ろの空所に「立っている」を表す動詞が入り、前の空所には主格の関係代名詞が入ることになります。先行詞のThe buildingは‘物’ですからwhichかthatを入れます。「立っている」という日本語は進行形を連想させますが、standは、建物などについてはstandで「立っている」という状態を表します。先行詞に合わせて3人称単数の形になることに注意しましょう。



8

- (2) I have an uncle
- who (that) has**
- a big car.

I have an uncle. (わたしにはおじがいます。) という文と、He has a big car. (彼は大きな車を持っています。) という文を1つにした文だと考えます。an uncle は‘人’で、「おじは大きな車を持っている」という関係になるので、主格の関係代名詞 whoまたはthatを前の空所に入れます。動詞の‘人称・数’は先行詞に一致させますから、ここではan uncle に一致させて3人称単数のhasになります。



9

- (3) The sea and sky
- that (which)**
- I saw there were wonderful.

Aの「沖縄で楽しい時間を過ごしましたか。」という質問に、Bは「はい」と言っています。それに続く文ですが、空所のあとにI sawという〈主語+動詞〉があり、sawの目的語が見当たりませんから、目的格の関係代名詞を入れ、「わたしがそこで見た海と空」という意味になるようにしましょう。先行詞がthe sea and skyで‘物’なので、thatまたはwhichになります。「わたしがそこで見た海と空はすばらしかった。」という意味の文です。

訳

A：沖縄旅行は楽しかった？

B：うん。そこで見た海と空はすばらしかったよ。



10

- (4) Paul has a
- sister who (that) studies**
- history in Japan.

上の文は「ポールには姉〔妹〕がいて、(彼女は) 日本で歴史を勉強しています。」という意味です。and sheからあとの部分を、関係代名詞を使って前のsisterに続ける文を考えます。先行詞はa sisterですね。「姉〔妹〕が歴史を勉強する」という関係になるので、関係代名詞は主格のwhoまたはthatにします。続く動詞は3人称単数形のstudiesです。「ポールには日本で歴史を勉強している姉〔妹〕がいます。」という意味の文になります。

確認しよう

2つの文を関係代名詞で結ぶときは、2つの文中で同じものを指す語を探し、代名詞になっているほうを関係代名詞に変える。



11

- (5) **The woman that [who] you saw near the zoo is Ms. Brown.**

上の文の意味は「その女性はブラウンさんです。あなたは彼女を動物園の近くで見かけました。」です。The womanが先行詞で、これを関係代名詞が導く節で修飾する形になると考えます。「あなたが彼女を見た」という関係になり、herはsawの目的語ですから目的格の関係代名詞を使います。‘人’が先行詞のとき、目的格の関係代名詞はthatまたはwhoです。thatのあとは〈主語＋動詞〉がくるので、you sawを続けます。「あなたが動物園の近くで見かけた女性はブラウンさんです。」という意味の文になります。なお、‘人’を先行詞とした目的格の関係代名詞には、whomを使うこともできます。

3

応用学習

スピーキング1

30分

スピーキングに取り組むに当たって

- スピーキングでは、毎回のテーマに沿って、日常的なやりとりや発表で使われる表現を学習していきます。
- ここではルールを頭で覚えるのではなく、「表現に慣れる」ことが目的です。
- まだ学習していない文法事項や知らない単語・表現が登場することもあります。まずは聞いて声に出して練習してみましょう。

買い物をすることができる1

海外旅行をしたときの楽しみの1つはショッピング。でも、ネットで買い物をするのは違い、そこには日本語の通じない店員さんがいます。「買いたいけれどお店に入れない…」なんて悔しい思いをしないよう、ここでは買い物シーンでの典型的な会話表現を身につけましょう。

Listen!

音声だけ
聞くスクリプトを
見ながら聞く訳を
確認再び音声だけ
聞く

1. まずは音声だけ聞いてみましょう。

2. スクリプトを見ながら聞き、訳を確認しましょう。

友達から変な日本語の書かれたTシャツをおみやげに頼まれていた由美は、旅先で洋服店に入りました。

スクリプト

Clerk : Hello. May I help you?

Yumi : Hi! I'm looking for a T-shirt with some Japanese kanji on it.

Clerk : OK, one moment, please.... I'm afraid we have only this type.

Yumi : Wow, I like it! Do you have it in a medium size?

Clerk : Sure. It costs nine dollars.

Yumi : OK. I'll take it.



聞

店員：こんにちは。ご用件をうかがいましょうか。
 由美：どうも！ 日本の漢字が書かれたTシャツを探しているんです。
 店員：わかりました、少々お待ちください…。あいにく、当店にはこのタイプしかありません。
 由美：わー、気に入りました！ それのMサイズはありますか。
 店員：はい。そちらは9ドルになります。
 由美：わかりました。それをください。

3. 再び音声を聞きましょう。

Check!

音声を聞いて
繰り返す



解説を
読む



2

対話文に出てきた重要表現を聞き、そのあとに続けて発音してみましょう。

May I help you?	(ご用件をおうかがいしましょうか。)
I'm looking for a T-shirt with some Japanese kanji on it.	(日本の漢字が書かれたTシャツを探しています。)
We have only this type.	(当店にはこのタイプのみあります。)
Do you have it in a medium size?	(Mサイズのものがありますか。)
It costs nine dollars.	(そちらは9ドルになります。)
I'll take it.	(そちらをいただきます。)

解説

店で買い物をするときの重要語句は、**help**, **look for**, **have**, **そしてtake**。どれもなじみのある語句ですが、買い物の場面ではどのような意味で使うのでしょうか。そのほかの重要表現と一緒に学習しましょう。

● **May I help you?** (ご用件をおうかがいしましょうか。)

この**May I …?** は**ていねいな提案を表して「…しましょうか」という意味を表します。このhelpは、「店員が客の用を聞く」といった意味。日本でも店員がよく「いらっしゃいませ」と言いますが、これと同じように使われます。**

● **I'm looking for ~** (～を探しています)

look for ~は「～を探す」。今、進行中の動作なので現在進行形を使います。この場面では客である由美がlook forを使っていますが、店員からWhat are you looking for? (何をお探しですか) とたずねられることもあります。

● **We have ~** (当店には～があります)

この**have**は「売っている、扱っている」という意味。日本語では、人物を表す主語を省いて「Tシャツがあります」と言うこともありますが、英語ではweを主語にして文を組み立てます。このweは「わたしどもの店」といった意味です。

● **Do you have it in a medium size?** (Mサイズのものがありますか。)


衣服を買うときに大切なサイズに関する表現です。基本サイズのLはlarge (大), Mはmedium (中), Sはsmall (小)の頭文字で、英語ではL, Mなどではなく、large, mediumなどで伝えるのが一般的です。「～サイズの」には前置詞**in**を使って、**a T-shirt in large size**「LサイズのTシャツ」のように言います。また、この文のitは由美が気に入ったTシャツを指しています。

● **It costs nine dollars.** (それは9ドルになります。)

このcostは動詞で、「(ある金額が) かかる」という意味。「いくらですか」と値段をたずねるときにはHow much is it?がよく使われますが、動詞のcostを使ったHow much does it cost?という言い方もあります。

● **I'll take it.** (そちらをいただきます。)

買いたいことを伝えるとき、日本語では普通「それをください」と言いますが、英語ではまず、**主語のIと意志を表すwillとの短縮形のI'll**で文を始め、**動詞take (～を買う; ～を取る)**を続けます。take itの下線部はつなげて発音しましょう。

 使える文法・語法 ~ takeの使い方~

takeはさまざまな意味を持つ多義語です。「～を買う; ～を取る」という意味のほか、重要な意味としては、「(時間が) かかる」, 「(乗り物に) 乗る」, 「(授業など) を受ける」などがあります。辞書で調べて確認しておきましょう。

It'll take an hour to finish my homework.

(宿題を終わらせるには1時間かかるでしょう。)

You need to take a bus to get there.

(そこへ行くには、あなたはバスに乗る必要があります。)

We took Mr. Green's math class.

(わたしたちはグリーン先生の数学の授業を受けました。)

Speak!

3

あなたが由美になり，店員と会話をしましょう。

Clerk : Hello. May I help you?

Yumi : Hi! I'm looking for a T-shirt with some Japanese kanji on it.

Clerk : OK, one moment, please.... I'm afraid we have only this type.

Yumi : Wow, I like it! Do you have it in a medium size?

Clerk : Sure. It costs nine dollars.

Yumi : OK. I'll take it.

練習問題

留美がキャップ (cap) を買いに来ています。会話が成り立つように、下線部の日本語を英語にしましょう。

Clerk : May I help you?

Rumi : (1)青いキャップを探しているんです。

Clerk : I see. This way, please... How about this one?

Rumi : Wow, cool! (2)Sサイズはありますか。

Clerk : Sure.

Rumi : (3)それはいくらですか。

Clerk : It's 23 dollars, but I'll give you a discount. How about 20 dollars?

Rumi : Thank you. (4)それをください。

(1)

(2)

(3)

(4)

M · E · M · O

解答・解説

解答例

- (1) **I'm looking for a blue cap.** (2) **Do you have it in a small size?**
 (3) **How much is it?** (4) **I'll take it.**

解説

これまでに学習した表現を使って書けましたか。

- (1) 客である留美がI'm looking forを使って、探しているものを店員に伝えています。
- (2) 「Sサイズの」はin a small sizeです。
- (3) この場面では、留美が値段をたずねています。How much does it cost? でもいいでしょう。
- (4) 割引された価格を気に入った留美は、購入する意志を伝えています。意志を伝えるwillを使えましたか。

店で買い物をするときの定型表現を覚えられましたか。

音声を聞いて、一緒に発音してみましょう。



4

Clerk : May I help you?
 Rumi : I'm looking for a blue cap.
 Clerk : I see. This way, please.... How about this one?
 Rumi : Wow, cool! Do you have it in a small size?
 Clerk : Sure.
 Rumi : How much is it?
 Clerk : It's 23 dollars, but I'll give you a discount. How about 20 dollars?
 Rumi : Thank you. I'll take it.

訳

店員：ご用件をおうかがいしましょうか。
 留美：青いキャップを探しているんです。
 店員：わかりました。こちらへどうぞ…。こちらはいかがですか。
 留美：わー、かっこいい！ Sサイズはありますか。
 店員：ございます。
 留美：おいくらですか。
 店員：23ドルですが、割引しましょう。20ドルでいかがですか。
 留美：ありがとうございます。そちらをください。

M · E · M · O

6

応用学習 関係代名詞の基本 / 否定疑問文

英作文演習

30分

指示に従って、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の2つの文をカッコ内の指示に従い、1文にしなさい。

The woman is sick in bed. Mr. Saito takes care of her.

(Mr. Saito を主語にして)

.....

- (2) 次の2つの文をカッコ内の指示に従い、1文にしなさい。

Kyoto is a city. It is famous for its beautiful buildings. (that を使って)

.....

- (3) 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語句を並べ換えて全文を書きなさい。

ベイカー博士はその惑星を発見した科学者です。

(discovered / Dr. Baker / is / the planet / the scientist / who) .

.....

- (4) 次の日本語の意味を表すように、カッコ内の語句を並べ換えて全文を書きなさい。
このあたりに切手を売っているお店はありますか。

(any / are / around / sell / shops / stamps / there / which) here?

.....

- (5) 次の日本語を英語に直しなさい。ただし、関係代名詞を省略した文にすること。
あなたがここで撮った写真は、すべてわたしたちに見せなくてはなりません。

.....

- (6) 次の日本語を英語に直しなさい。

パリは彼女が訪れたい唯一の都市です。

.....

(7) 次の対話文中の下線部を英語に直しなさい。

A : クラシック音楽は好きではありませんか。

B : いいえ, 好きです。 I like it very much.

A :

B :

解答



2

(1) **Mr. Saito takes care of the woman who [that] is sick in bed.**

1つ目の文は「その女性は病気で寝ています。」、2つ目の文は「斉藤さんは彼女の面倒を見ています。」という意味です。Mr. Saitoを主語にして1文にするわけですから、「斉藤さんは、病気で寝ている女性の面倒を見ています。」という文を作ればいいですね。文の骨組みである「斉藤さんは女性の面倒を見ています」は、2つ目の文の her を1つ目の文の主語 the woman に変えて、Mr. Saito takes care of the woman とします。そのあとに関係代名詞を用いて、the woman を修飾する節を続けます。the womanは‘人’で、続く部分の主語ですから、関係代名詞は who または that を使います。全体で、Mr. Saito takes care of the woman who [that] is sick in bed. という文になります。take care of ~ = look after ~ (～の世話をする)



3

(2) **Kyoto is a city that is famous for its beautiful buildings.**

1つ目の文は「京都は都市です。」、2つ目の文は「それ(=京都)はその美しい建造物で有名です。」という意味です。1文にするには「京都は美しい建造物で有名な都市です。」という内容にすればいいですね。文の骨組みである「京都は都市です」には1つ目の文の形を使い、2つ目の文の主語Itを、先行詞が‘物’で主格の関係代名詞と置き換えて続けられればいいですね。関係代名詞は whichか that ですが、that が指定されていますから、that を関係代名詞として使います。全体で、Kyoto is a city that is famous for its beautiful buildings. という文になります。



4

(3) **Dr. Baker is the scientist who discovered the planet.**

文の骨組みは「ベイカー博士は～です」で、Dr. Baker is ～となりますね。‘～’の部分に「その惑星を発見した科学者」という表現がきます。「その惑星を発見した」が「科学者」を修飾していますから、ここに関係代名詞を使います。先行詞を the scientist にし、これが discovered (発見した) の主語になりますから、主格の関係代名詞 who を使って the scientist who discovered the planet と続けます。



5

(4) **Are there any shops which sell stamps around here?**

語群に which があるので、関係代名詞を使うと見当をつけます。文の骨組みは「～はありますか」で、これは There is [are] ～ を疑問文にしたものですね。‘～’の部分に「切手を売っているお店」という表現がきます。これは「切手を売っている」が「お店」を修飾しているので、関係代名詞を使ってつなぎましょう。any shops を先行詞にし、これが sell (売っている) の主語になりますから、主格の関係代名詞 which を使って any shops which sell stamps と続けます。最後に「このあたりに」に当たる around here を置きます。



6

- (5) **You have to show us all the pictures you took here.**

別解 You must show us every picture you took here.

まず、「～をわたしたちに見せなくてはなりません」の部分を考えましょう。「あなたは…しなくてはならない」という‘義務’は have to または助動詞 must を用いて表します。「～（物）を…（人）に見せる」は〈show + …（人）+ ～（物）〉ですから、You have to [must] show us ～ とします。これは〈show + ～（物）+ to + …（人）〉の形で表すこともできますが、ここでは‘～’の部分が多いので、show のあとにすぐ人を表す語を置いたほうがよいでしょう。‘～’には「あなたがここで撮った写真すべて」が入りますね。all the pictures, または every picture を先行詞にして「あなたがここで撮った」を関係代名詞が導く節で表します。先行詞に all や every がつくので関係代名詞 that を用いるのがよいですが、目的格なので省略できます。(that) you took here と続けましょう。

注意しよう!

all を the や所有格の代名詞などと共に使うときは、それらの前に置く。

- all the students (その生徒全員) / × the all students
- all my money (わたしのすべての金) / × my all money



7

- (6) **Paris is the only city (that) she wants to visit.**

文の骨組みは「パリは…唯一の都市です」なので、Paris is の後ろには the only city が続きます。the only city を先行詞にして、「彼女が訪れたい」を目的格の関係代名詞を使ってつなぎますが、先行詞に the only が付いているので関係代名詞は that を使います。したがって全文は Paris is the only city that she wants to visit. となります。目的格の関係代名詞は省略することもできます。



8

- (7) A : **Don't you like classical music?**

B : **Yes, I do.**

A 「…ではありませんか」とたずねるときは否定疑問文で表します。日本語には主語はありませんが、英語は主語が必要です。「あなたは…ではありませんか」と考えて、Don't you …? で表します。「クラシック音楽」は classical music です。全体では Don't you like classical music? となります。

B 「いいえ」と言っていますが、あとには「好きです」と肯定の内容が続いているので、答えの文は Yes を使い、Yes, I do. とします。日本語の「いいえ」につられて No としないように注意しましょう。

M · E · M · O

7

関係代名詞の基本／否定疑問文

添削問題 1

30分

「一貫標準」「一貫発展」共通の問題です。

1 指示に従って、次の問いに答えなさい。 (配点 20)

- (1) 次の日本語を英語に直しなさい。(10点)
わたしが昨日見たテレビ番組はとてもおもしろかった。
- (2) 例にならって、次の枠内の人物を紹介する英文を、関係代名詞を使って1文で書きなさい。ただし、与えられた情報はすべて用いること。(10点)

〔問題〕 Ms. Green 美しい女性で、タカシが会いたいと思っています。

〔例〕 Mr. Brown 背の高い男性で、いとこのためにすてきな歌を歌いました。
→ Mr. Brown is the tall man who sang a nice song for his cousin.

M · E · M · O

「一貫標準」の問題です。

2 次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。

(配点 30)

①I have a friend [] Cambodia*. She is a great woman and I respect her very much. When she was a child, her country had very many terrible things. The “Khmer Rouge*” ruled Cambodia at that time. Cambodians* are traditionally poor, and during the Khmer Rouge period*, people became tired. They had no food or money, and they had to follow the Khmer Rouge and do many things.

My friend’s name is Lee. She lived in the capital city* of Cambodia. ②When she was fourteen, all the people who lived there had to leave the city. They left their homes and walked into the countryside. For four years she worked for the Khmer Rouge, but she was always hungry.

After four years, another government began to rule Cambodia. Lee was now free and could start her life again. She became a nurse and began to help people who got sick when they were working for the Khmer Rouge. Later, she began to work for an NGO which does many things to help poor families. Lee spoke Khmer (which is the Cambodian national language), French and English. She was very useful to ③the NGO, because many of the people who came to help Cambodia at that time were from Europe, the US and Canada.

Today, Lee is the director of an NGO in Cambodia which helps poor people. I respect her very much, ④because she (bad / did / give / happened / many / not / things / up / when) to her.

(注) Cambodia = カンボジア Khmer Rouge = クメール・ルージュ(カンボジアに圧政を敷いたポル・ポト主導の政党) Cambodian = カンボジア人
 period = 時代 capital city = 首都

- (1) 下線部①が「わたしにはカンボジアに住んでいる友人がいます。」という意味になるように、空所に最も適当な3語を入れなさい。(4点)
- (2) 下線部②をthereが指す内容を明らかにして日本語に直しなさい。(8点)
- (3) 下線部③のthe NGOはどんなことをする組織なのか、本文の内容に即して日本語で説明しなさい。(6点)

- (4) 下線部④が次の日本語の意味になるようにカッコ内の語を並べ換えて英文を完成させ、カッコ内の語のみを書きなさい。(6点)

なぜなら、彼女は数々の不幸が自分の身に降りかかってきてもあきらめなかったからです。

- (5) 次の英文は本文を要約した文です。本文の内容に合うように、空所に入る最も適当な語を1語ずつ書きなさい。(各2点)

Lee is Cambodian. When she was a child, the Khmer Rouge ruled the people of (ア). After this period, a new government started. Lee became a (イ) and worked for the Cambodian people. Then, she became a member of an (ウ). She was a very useful person there.

「一貫発展」の問題です。

2 次の英文を読んで、下の問いに答えなさい。

(配点 30)

When I began to learn Japanese, I thought it was extremely* difficult. Japanese seems extremely hard, because it uses *hiragana*, *katakana*, and *kanji* to write things down. For people who are used to* the alphabet, the idea of three types of writing is very difficult.

5 ① But I learned to listen to the things that Japanese people said when they talked. Japanese is a language which is easy to speak but isn't easy to write. So I listened to the things which people around me said, and tried to use the same words.

10 For example, if someone said a word (②) I did not know, I guessed the meaning of the word. Once I knew the meaning of the word, I tried to use it myself. If people seemed to understand me when I used the word, then I used it again and again.

15 After I had children, I realized one thing. This is ③ the method* that children use to learn language. When children are born, they do not know the meaning of words. But they gradually* listen to adults carefully and learn to speak. They take a word that their parents use, and they use it themselves. In this way, their language develops little by little every day.

(注) extremely = 非常に be used to ~ = ~に慣れている
method = 方法 gradually = しだいに

- (1) 下線部①を日本語に直しなさい。(8点)
- (2) 空所②に入る最も適当な1語を書きなさい。(3点)
- (3) 下線部③「子供たちが言語を学ぶために用いる方法」とは具体的にはどんな「方法」か、本文の内容に即して30字以内の日本語で説明しなさい。ただし、句読点も字数に含むものとする。(8点)
- (4) 次のの中から本文の内容に合っているものを1つ選び、記号で答えなさい。(4点)
 - ア 日本語を学ぶ外国人にとっては、ひらがながいちばん簡単で覚えやすい。
 - イ 日本語は難しい言語なので、書いて覚えるのが理解しやすい。
 - ウ 日本語を学ぶには、繰り返し聞いて、覚えた単語を実際に使ってみるのがよい。
 - エ 筆者は子供のとき、日本語を自分の親から聞いて覚えた。

- (5) 次の日本語と英語を比較した文を読んで、下線部を日本語に直しなさい。(7点)

Is Japanese more difficult than English? Japanese has many types of writing, and most foreign people think it difficult. Most non-Japanese* people who learn to speak Japanese well can't write well. On the other hand, English has many tenses*. They are also difficult to understand. People who are studying English as a second language often have a lot of trouble. What do you think?

(注) non-Japanese = (日本人から見た) 外国人 tense = 時制

解答用紙

禁無断転載

Z-KAI

この答案の添削有効期限は 1年 6ヶ月 までです。

※解答は、濃く、はっきりとご記入ください。

1 / 2 枚目
PET3A1-S1D1

総 得 点	35 / 50
-------------	---------

関係代名詞の基本 / 否定疑問文

添削問題 1

1 PET3A1-S1C1

* 「わたしが見た～」と限定される番組なのでtheをつけます。

8 / 10 (1) TV program that I watched yesterday
The is very interesting.
was

* 「面白かった」とあり、時制は過去です。

7 / 10 (2) Ms. Green is the beautiful woman who
wants Takashi want to see her.

* 関係代名詞の who が see の目的語になっているので、her は不要です。

* 主語が Takashi で3人称単数現在形となるので、-sがつきます。

どちらも関係代名詞を使った文でした。目的格の関係代名詞を使ったため、動詞のうしろの目的語が不要になる点は、(1)ではできていますね。さらに、時制や、3単現の -s など、細かいところにも注意して文を組み立てましょう。

2 PET3A1-S1C2

3 / 4 (1) who lives live in

* 関係代名詞が導く節の動詞は先行詞に合わせます。三単現の -s が必要です。

長女を読むのに時間がかかった。

あまり速く読もうと意識しすぎて、理解をおろそかにしてしまいがちになるものです。意味はよくとれているので、多くの英文に触れれば、自然と読む速度が上がってくるでしょう。

難しかった問題 [2 (5)]

カンボジアの首都に $\triangle -3$

3 / 8

(2) 彼女が 14歳だったとき、そこに住んでいた

その人が、その町を出発しました。 $\triangle -2$
しなければなりませんでした

* 「thereが指す内容を明らかにして」という指示です。thereはthe capital city of Cambodiaを指します。

* had to ... は「...しなければならなかった」という‘義務’を表します。

5 / 6

(3) 家族を助けるためにたくさんのことをする組織。

$\triangle -1$
貧しい

6 / 6

(4) did not give up when many bad things happened

Cambodia $\triangle -1$

1 / 2

(5) ア Cambodian

* Cambodianは「カンボジア人」という意味です。空所には国名が入ります。

0 / 2

✓ director

* directorはNGOの理事のことですが、NGOについては次の文に書かれていて、この文には合いません。

2 / 2

ウ NGO

カンボジア人のLeeについての説明文ですね。おおむね内容が理解できています。子供時代から現在まで、Leeがどのように過ごしてきたのか、何をしているかを整理しながら読み進めましょう。本文の中には関係代名詞whoやwhichを使った修飾がたくさん出てきます。それぞれ先行詞は何か、修飾部分はどこまでかを確認しておきましょう。